

市議会だより

6月定例会 一般質問

●10人の議員が市政について質問しました。
●主な内容については次のとおりです。

松碕 嘉信 議員

子育て支援について

問 子ども課ができた今、児童クラブと寺子屋を一本化する構想はありますか。

答 今年度、放課後子どもプランの実施を検討していく中で、放課後の子どもで安全で健やかな活動場所を確保するための対応策を、教育委員会内部で調整していきます。

問 児童虐待が年々増加してきていますが、西尾市ではその対応策はどのようになっていますか。

答 市民からの通報、あるいは保育園、幼稚園、小中学校等で虐待が発見された場合、まず総合福祉センターの家庭

児童支援室に連絡が入るようになっていきます。そして、家庭児童支援室は、状況あるいはけがの有無について調査し、緊急対応が必要と判断した場合は、岡崎の西三河児童相談センターに連絡をとり、保護者と接触するなど対応していきます。また、児童虐待の早期発見のために、地域住民を巻き込んだネットワークづくりをいろいろな機会を通して関係機関にお願いしていきます。

教育・文化活動の充実について

問 西尾市の児童生徒が、文化・スポーツ面で東海大会や全国大会で活躍していますが、大会への交通費や宿泊費の補助はどうなっていますか。

答 現在、西尾市では、児童生徒活動推進事業補助金を各学校に交付しています。全国大会等の参加については、

保護者や地域の負担が大きいと考えていますので、近隣市の状況を調査して検討していきます。

問 西尾市の名所に、俳句等の投稿箱を設置し、定期的にすぐれた作品を紹介するような、文化の香りが漂うまちづくりをしていきたいませんか。

答 現在、投稿箱を設置することは考えていませんが、さまざまな文化活動主体と連携を図り、多くの市民の方が俳句文化を楽しめるような支援をしていきたいと考えています。

西尾市北部の発展について

問 六万石くるりんバスの3月以降の利用率、維持費はどのようになっていますか。また、見直しをできる限り早く図って、市内全域にバスを運行しませんか。

答 月別の利用者は、3月は延べ3千340人、4月は延べ3千242人、5月は延べ3千110人で、1日平均約100人となっています。維持費は年間2千121万円の予算を計上しています。また、路線の拡大等の見直し

は、市民をはじめ、警察や道路管理者など、関係機関をメンバーとする地域交通会議を今年の秋ごろに設置して、検討していきます。

問 北部地区にグラウンドゴルフ等の多目的広場、公園をつくる構想はありますか。

答 現時点では、米津公園等の既設の公園を利用していただくということで新たな構想はもっていません。新たに作るには地元の協力が不可欠ですので、よろしく願います。

問 名鉄の碧海桜井駅と米津駅の間につくる新駅による影響を、どのように予測されていますか。

答 運行本数、形態等は現在検討中のことですので、西尾線の利便性がよくなるよう、また、米津駅に影響がないよう強く申し入れていきます。

大竹 忍 議員

119番登録制度創設で災害弱者支援対象拡大を

問 災害時や事故等発生時に特別の支援を必要とする人について、本人の申請に基づいて登録する、119番登録制度を創設しませんか。

また、登録対象者は、一人暮らしの高齢者、障害者（身体・知的・精神）、高齢者世帯や昼間等において高齢者のみになる世帯及び緊急時において特別の支援を必要とする人も対象としませんか。

市が計画中の「災害時要援護者に対する支援の基準」を作成する中で、119番登録制度及び特別の支援を必要とする人など、支援対象者の幅を広げることが盛り込んでいきたいと思えます。

提出された「119番登録申請書」を消防緊急通報指令システムに登録し、このデータを基に、事故発生時の消防自動車・救急自動車等の速やかな出動や支援活動の開始、また大規模災害時における速やかな支援活動ができるよう支援体制を充実しませんか。

「災害時要援護者」に対する支援の基準」ができた段階で、登録可能な範囲の情報を入力し、事故発生時の速やかな救援活動ができるよう支援体制を充実していきます。

申請者了解のもと、個人情報データベースを支援活動に携わる福祉課、防災対策室等で共有できるようにしていきますか。

災害が発生した際、スムーズな支援活動ができるようにしていきたいと考えています。



家族で安心して楽しめる矢作古川公園になるよう整備します

八ツ面山及び
矢作古川公園整備について

矢作古川公園の樹木の剪定をして、見通しをよくし、小さい子ども連れの家族が安心して楽しめる公園に整備しませんか。

年間の維持管理の中で、剪定に努めています。樹木が成長し、極端に見通しが悪くなったり、防犯面で支障となったりする場所は、状況を見ながら適宜剪定をし、安全に配慮していきます。

八ツ面山に四季折々の樹木（つじや萩など）を植え、市民が1年を通して楽しめるように、現在整備中の「道の駅」と併せて整備しませんか。

山全体が自然の樹木に覆われてお

り、貴重な自然を大切にしていきたいと思えますので、新たな整備は考えていません。植栽については、地域と一緒に検討していきます。

市民の皆さんが安心して利用できるように、野犬狩りを市で実施しませんか。

町内会、動物保護管理センター、市環境課の三者で、実施に向けて協議中です。

鈴木 規子 議員

だいじょうぶですか、市民病院

市民病院の医師が減っていますが、診療科目は減りませんか。

消化器内科と精神科は常勤医師の不在で診察に支障が起き、時間外と入院で診療制限しています。

この2年で52人が47人に減っていますが、必要な医師数はどれだけですか。

増員したいのは14人で、内科5、小児科と麻酔科各2、整形外科・脳神経外科・産婦人科・精神科・放射線科で各1です。

医師の確保と減少対策はどのような

ですか。

①大学医局に依頼する ②処遇・労働環境・医療機器の整備で医師のやる気高める ③積極的に研修医を採用し定着を図る ④開業医との連携を図るなどの対策を進めます。

医師の過重労働も退職の大きな要因であり、このままでは地域の救急医療体制も危なくなりそうです。地域の開業医にも協力を求め、夜間休日の救急診療所を新たに設置するべきではありませんか。

今は在宅輪番制の休日診療ですが、医師会とも話し合いながら、病院将来計画の中で考えます。

災害拠点病院の指定をつけましたが、緊急に整備をしなければならぬことはありませんか。

水の確保については、井戸を掘って、今、病院で使っている水の8割を井戸水で賄う計画があります。これが実現すれば、電気さえ通っていれば、緊急時でも水は確保できると思います。

子育てのための公園づくりを

市長は、子どもが毎日遊べる公園が足りていると思いますか。

市内の都市公園・緑地を考えますと、市民一人当たり面積は、法で定める標準値（10平方メートル）の半分です。



みどり川コミュニティ道路の流水池

これから市営住宅の跡地、三河線の駅の跡地などで公園をつくっていききたいと思えます。

問 みどり川西側の遊歩道に深さ10〜30センチの流水池がありますが、水もそのまま放置されています。水が漏れるとのことですが、修理し、水遊びのできる公園にしませんか。

答 今年度の早い時期に、駅西検討委員会の方たちも交えて検討していきま

問 親子で遊べる大型公園計画がありますが、観覧車のある遊園地ではなく、体験型の冒険遊び場のようなものを考

えませんか。

答 単なる遊園地とは考えていません。豊かな自然環境と安全快適な、だれでも利用でき、だれにもやさしい公園という考え方です。

牧野 勝子 議員

市民病院駐車場の開放を

問 平成8年度から駐車場システムの借り上げや、保守点検料等、総額いくらになりましたか。

答 現在の駐車場システムは、平成8年6月に導入しており、機器の賃貸料、保守料、駐車場管理の人員費、駐車券などの消耗品費で年間約2千万円、平成8年から17年までの10年間で、約2億円を支出しています。

問 現在の駐車場システムの契約は、6年間の更新で、途中で使用を中止しても契約金額は変わらないのですか。

答 駐車場システムは、平成22年9月までの6年間使用するということで、当初の設置費用を72か月で分割払いすることになっています。途中で解約した場合、残金を一括支払いせざるを得ないと考えます。ただし、平成22年までこのままでよいのか、研究してみたいと思えます。

問 駐車場は、今後開放していくとすると、いつからですか。

答 無料化は、本年1月から試行しています。正式に無料化するには、条例改正が必要です。今しばらく様子を見たいと思えます。



無料化後も一旦停止してから入るシステムの市民病院駐車場

休日診療所は不可欠

問 1市3町の患者は、当番医を探すことが大変で、救急患者対応が増えていると思えます。休日診療所を設置しませんか。

答 現在、当番医制度で協力いただいている医師会などと、話し合いを続けていきます。

問 老化は一定の年齢に達しないと自覚しづらく、自覚したときには疾病が治りにくいという実態があります。市として、健康プロジェクトチームをつくって、取り組みませんか。

答 平成20年度から生活習慣病を中心とした疾病予防として、健診、保健指導を重点的に取り組んでいきます。

問 保健センターや福祉センターに、体脂肪が計れる体重計を設置しませんか。

答 検討してまいります。

学童保育の充実を

問 矢田・中畑小学校区の学童保育は、いつから、どこで、どのような内容で行いますか。

答 矢田・中畑小学校区の学童保育開設は、夏休み前を予定しています。場所は、矢田小は敷地内、中畑小は学校南の中畑母子寮跡地を予定しています。定員は、矢田小30人、中畑小20人を計画しています。

問 平坂小学校の学童保育は、定員の割に部屋が狭く、改善策はどのようなですか。

答 改善策として、教室の真ん中にある仕切りの壁を撤去して、教室全体を使用できるようにします。

稲垣 正明 議員

少人数学級と
児童クラブについて

問 少人数学級の小学2年生などへの
年次拡大を今後どのように考えていま
すか。

答 小学2年生への少人数学級の拡大
は、平成20年度の県の少人数学級に合
わせ、市は小学1年生と同じく少人数
指導の形で検討していきます。

また、平成21年度から県の中学1年
生実施に伴い、市単独の少人数学級を
中学2年生へ拡大していくことを検討
していきます。

問 今年度中畑小学校と矢田小学校に
児童クラブが開設されますが、来年度
以降の計画はどうなっていますか。ま
た、早くできませんか。

答 来年度2か所、再来年度1か所設
置予定です。児童クラブのニーズに応
え、一日も早く全校区に設置できるよ
う計画の前倒しを含め検討していきま
す。

児童・生徒の安全、
いじめについて

問 240ほっとメールの活用方法と

登録数はどうなっていますか。

答 不審者情報は、教育委員会から直
接登録者へ配信します。学校行事の中
止や時間変更も、それぞれの保護者へ
配信します。登録数は5月5日現在、
小学校3千947人、中学校1千82
9人、計5千776人です。世帯数比
率は約74%です。

問 いじめに対する学校の予防措置、
対応はどうなっていますか。

答 予防措置としては、教育委員会、
学校、保護者が連携して、早期発見と
早期解決に努めています。年2回以上
小中学校で、保護者や子どもへのいじ
めアンケートを実施しています。また、
スクールカウンセラーや心の相談員を
設置して、早期の対応にも取り組んで
います。

一人暮らし高齢者への
対応などについて

問 緊急時の連絡など、一人暮らし高
齢者への対応はどうなっていますか。

答 一人暮らし高齢者と高齢者のみの
世帯を対象にシルバークードを作成し
ています。地区の民生委員に高齢者宅
を訪問してもらい、緊急時の連絡先、
健康状態を調査していただいています。
また、70歳以上の方には定期的に訪問
し、介護予防の相談に乗ったりなどし
ています。

問 県道平坂福清水線の拡幅工事と矢
作川左岸堤防のリフレッシュ工事の計
画はどうなっていますか。

答 平坂福清水線は平成18年度に用地
測量が終わり、今年度より用地買収を
進めていく予定です。

リフレッシュ工事は、今年度、延長
300mを工事し、平成23年度には中
畑から上塚橋間の工事が完了予定です。



矢作川堤防の小段を道路として整備するリフレッシュ工事

田中 弘 議員

教育・子育て支援について

問 幼保一体化は、どのような進捗状
況ですか。

答 3歳児から5歳児までの幼児教育
内容部分について、幼稚園と保育園の
保育内容が同じになるように、共通の
カリキュラムの編成を来年度からの実
施に向け検討しています。

問 子育て支援策として、育児休業中
の保育を考えませんか。

答 育児休業取得中の保護者の児童の
うち、3歳以上児については当該年度
内の職場復帰を条件に、保育に欠けな
い子を私的契約児として入園を許可す
る場合がありますが、3歳未満児は対
象外になっています。なお、今年度か
ら一時・特定保育を拡充していきます。

問 幼稚園の時間延長を考えませんか。

答 まず、保育園のない鶴城小学校区
の幼稚園での預かり保育について、ア
ンケート調査を実施します。その結果
を踏まえ、実施に向け検討したいと思
います。

問 保育園、幼稚園及び小学校の遊具
の管理状況はどのようですか。

答 毎年、専門の遊具点検業者に委託
し、非破壊安全検査及び定期保守点検
を行っています。

問 定期検査を行っていても事故は起
こっていますので、老朽化した遊具を
取り替えませんか。

答 順次取り替えていきたいと思いま
す。



将来計画に基づき施設整備が行われる市民病院

市民病院の将来計画について

問 市民病院独自の経営計画による資金手当等について、どのような計画をお持ちですか。

答 1億円を超えるような高額医療機器の購入や管理棟の増築、救急外来の施設整備等の財源は、地方債を考えています。

問 新しい医療機器の整備は、どのような考えですか。

答 院内に医療機器委員会を設け、各科からの要望に対し、導入の効果や利便性及び採算性を検討したうえで、最新鋭の機種を導入するように考えています。

問 救急医療施設の整備はどのような考えですか。

答 救急施設の充実を図るため、現在

の食堂を移転してその後に、救急外来部門の整備をしたいと考えています。

問 未収金の発生防止と減少対策は、今後どのように取り組めますか。

答 戸別訪問による納付指導をしたり、主治医から文書を手渡したりして納付を促しています。今後は、自動精算機やクレジットカードにより支払いができる制度の導入とか、悪質なケースについては法的手段も視野に入れて、未収金の抑制に取り組めます。

中村 行男 議員

「ごみ減量と循環型社会の実現に向けた取り組みは

問 国県がごみの減量に取り組んでいる中で、市はどのような対策を考えていますか。

答 今年度は新規事業として、「ごみを資源として出しやすい環境をつくるため、常設型資源ステーションを設置するほか、分別収集を実施し、更なるリサイクルの促進を図っていきます。

問 町内ごとに自己処理するシステムを考えてみませんか。また、可燃ごみを分別収集して、資源化事業を進める考えはありませんか。生ごみ処理機

や、街角に木箱製のごみ箱を置いて管理者に補助金を出す制度はどうでしょうか。

答 今後、西尾市に適した方法を管理者への補助金制度とあわせて研究していきます。

問 農家とタイアップして堆肥の処理をしてみられてはどうですか。

答 安定した堆肥を供給することが可能になれば、農地、農作物への影響を十分に勘案した上で、農家の理解をいただくよう検討していきます。

障害者の自立支援と就労について

問 障害を持つ者にとって、就労することは大変難しいことですが、行政としてどのような対策を考えていますか。

答 障害者など、弱者を採用している事業所を優先する、育成型入札制度を実施しています。また、障害者の就労



くるみ会西尾作業所の作業風景

を図るため、西尾市障害者就労促進会議を今年設置しており、ハローワーク等の関係機関とのネットワークづくり、支援体制づくりを進めていきます。

問 障害者就労率は、国の定める1・8%を満たしていますか。

答 西尾公共職業安定所の昨年6月調査結果によると、管内の西尾市、幡豆郡73社の障害者雇用率は、1・52%で法定雇用率は満たされていません。未達成事業所に対しては、同所が訪問指導をしています。

問 一般企業内のラインの一部を、企業内授産するような指導はできませんか。

答 現在、障害者試行雇用事業が行われています。これは、ハローワークの職業紹介により、障害者を短期に試行雇用するという事業ですので、積極的な活用をお願いしたいと思っています。

安藤 好実 議員

災害時に備えて
職員招集訓練の実施について

問 職員を招集する訓練をしたところ、50%以下の職員しか集まらなかった自治体もあり、災害時に全く機能しない職員では困ります。西尾市も、大規模



西尾市が実施している緊急通信システムを紹介したパンフレット

災害に備えるための職員招集訓練をしませんか。

○ 災害など、緊急時に職員を参集させる緊急通報システムを整備しています。職員の自宅固定電話、携帯電話、電子メールに発信し、連絡するもので、課長補佐以上が対象でしたが、今年度から主査以上を対象に訓練を行います。

問 訓練は、管理職だけで行うべきではなく、全職員でやらなければ災害時の把握ができません。災害対策本部長でもある市長の考えはどうですか。

○ 阪神・淡路大震災・クラスの地震が起きたときを想定して、だれが地元に残り、だれが市役所に来るのか、それを検討して、取り組んでいきます。また、寝たきりの人や、一人暮らしの方がどこにいるのか把握し、災害時に生命と財産を守るのが行政の責務ですので、肝に銘じてがんばっていきます。

問 大家族が多く、密接な交流が地域にあった時代とは違う中で、災害時の

高齢者世帯や一人暮らし世帯の老人救出を、どのように考えていますか。

○ 阪神・淡路大震災時では、家族による救出は66・8%、友人または隣人が30・7%、救助隊1・7%だったことが公表されています。防災訓練の場を通して、支援していきます。

災害時に援護が必要な高齢者、障害者、外国人等の人数は

問 自主防災会組織の役員は、高齢者世帯や一人暮らし老人世帯の把握をしておく必要があると思います。災害時の要援護者は、何人程と予想していますか。

○ 地域の意見を聞きながら、災害時要援護者に対する協議を進めます。また、災害時に援護が必要な高齢者、障害者、外国人等の概算人数は1万3百人程度と考えています。

問 大規模災害発生時には、市内に7か所ある救護所へ、医師や市職員を1か所当たりどの程度配置できるのですか。

○ 例えば、西尾小学校では、救護所として開設担当職員が6人、救護班が2人、医師会より担当医師が2人、歯科医師が2人、薬剤師が2人配置されます。また、福地中学校では、開設担当職員が6人、救護班が2人、医師会より担当医師が2人、歯科医師が1人、薬剤師が2人配置される計画です。

広中 利臣 議員

視覚障害者支援について

問 広報にしお等に、SPコードを表示して、情報通信機器の配備と講習を進めませんか。また、視覚障害者支援のための歩行訓練士派遣促進と、公園や横断歩道に点字ブロックを整備しませんか。漢点字を普及して、災害行動マニュアルの点字版作成と音声化をしませんか。

○ SPコードや漢点字、マニュアル等は研究し、あとは普及に努めます。

問 精神障害者団体の、社会福祉法人認可助成と拠点整備し、福祉作業所を開設しませんか。また、入院の必要な精神科救急患者を、24時間受付できるようにし、地域支援システムとネットワークを構築しませんか。

○ 社会福祉法人取得は難しいため、NPO法人格の取得申請をする予定です。精神障害者の拠点は、現在2か所の作業所があり、今後支援を続けたいです。

また、精神科救急医療は、県の医療システムで24時間受付が可能です。地域支援システムは、「西尾市自立支援協議会」を設置予定で、この中でネットワーク構築を推進します。

納税等にクレジットカード等決済の導入について

問 納税や保育料等支払いに、クレジットカード決済を導入したり、商店街等のポイントカードが使えるシステムを構築したりしませんか。また、クレジットカード等のポイントを寄付する制度、仮称「ふるさと基金」を創設しませんか。

○ 将来的には、クレジットカード決済の時代を迎えますが、現在は考えていません。ポイントカードが使えるシステムは研究しますが、寄付制度の創設は考えていません。

問 高齢者ボランティア活動実績のポイントで、介護保険料が納付できるシステムと、病院通院や買い物支援等のポイント交換システムを構築しませんか。また、NPOや商店街等で利用できるポイント利用券制度を創設しませんか。

○ ポイント納付は研究しますが、今は考えていません。

栄養サポートチーム（NST）と幼児同乗の自転車対策について

問 市民病院に、歯科医師室を設置して、栄養サポートチーム（NST）に参加できるオープンスペースシステム

を導入し、嚙下（えんげ）リハビリを開設しませんか。

○ 歯科医師を含めた運営が望ましいため、検討します。摂食・嚙下障害認定看護師の育成に取り組み、リハビリをより強化します。

○ 幼児を乗せる自転車用補助いすを低位置で設置できる補助具を開発し、装着運転の講習会を開催しませんか。また、就学前の幼児に、ヘルメットの無償配布と着用を義務化しませんか。

○ ヘルメット無償配布、条例等による着用義務化及び補助具の開発は考えていません。今後は、講習会でヘルメット着用の必要性を指導していきます。

○ 小児用AEDパットを設置して、AEDの無償貸出制度を創設しませんか。

○ 今後のAED導入計画の中で検討します。

牧野 次郎 議員

商工会議所新会館建設の補助金は高すぎませんか

○ 昨年11月末、商工会議所から会館建設費補助金要望書が出され、3億7千800万円の補助金支出が決定され

ました。商工会議所の資金計画を把握していますか。これまで、無償で市の施設を利用していたのですが、今後、新会館の維持管理費はどれほどかかりますか。その補助金まで求められるようなことはありませんか。

○ 会議所の資金計画など、細かく聞いています。何かを造るときには欲も出ます。自分たちの自己資金を考え、若干は規模が大きくなった気もしますが、会議所は会議所で計画を立ててやっていますので、会議所が決めたことに口を差し挟むことはないと思います。

○ 新会館建設用地として、市が商工会議所に9千500万円で売る土地は、市が開発公社から買い上げた2億5千万円の半値以下、会議所が昨年取得した隣接地よりも格段に安くなっています。さらに土地取得費の半額を補助するというのは異常ではありませんか。

○ 深い過去は知りませんが、買った値段よりはるかに安いことは承知しています。しかし、市の将来を考えて判断しました。金銭的には損は覚悟ですが、商工会議所にご縁があり、手放すことを決定しました。

公共交通空白地へ巡回バスの路線拡充を

○ 公共交通が後退する中で、くるりんバスの路線拡充を進めるべきです。

市長も拡充を検討する考えのようですが、具体的にどうしますか。

○ 六万石くるりんバスに対しては、利用者や市民からご意見をいただいています。今後、市全体の市民のご意見を参考に、秋には「地域交通会議」を立ち上げ、20年度の路線見直しや交通空白地への対応策を検討します。

○ 高齢者や障害者など福祉対象者には、優待バスを検討しませんか。

○ 利用促進のために、店舗や大型店に協力を求めていく中で、高齢者や障害者への配慮も検討します。

住民税などの負担増の軽減は

○ 昨年に続き今年も、定率減税の全廃と年金課税の強化などにより、住民税が跳ね上がります。昨年、市長は、軽減できるものについては軽減する、と言われたのですが、見るべきものはまだなく、どうしますか。

○ ほとんどの方が痛みを感じ、特に高齢者は痛みを感じておられる気がありますが、応分で公平な負担という観点から、現時点では減税については考えていません。

○ 西尾市が突出している、国民健康保険証の実質的な取り上げになる資格証明書の発行について、悪質な税の滞納でないものの配慮はどのようですか。

○ 被保険者資格証明書の交付対象者には、きめ細かな訪問と相談を行い、生活実態など特別の事情の把握に努めています。

○ 増税の影響で、保育料が上がる子育て世帯が生まれる心配が出ています。厚生労働省は、増税が保育料アップにつながるないようにする基準改定の通知を出しました。市は、この通知に沿った基準改定を行わないのですか。

○ 同じ年収であれば、定率減税縮減の前と後で同じ保育料になるよう、所得階層区分の改正を行います。

9月定例市議会開催予定のお知らせ

9月3日(月)	本 会 議
9月4日(火)	本 会 議
9月5日(水)	本 会 議
9月7日(金)	厚生教育委員会
9月10日(月)	経済建設委員会
9月11日(火)	企画総務委員会
9月12日(水)	14日(金)
決算特別委員会	
9月18日(火)	庁舎建設特別委員会
9月27日(木)	本 会 議

▼開会時間は午前10時です。

*本会議は議場
*委員会は第一委員会室



6月定例会で可決された議案



※西尾市公平委員会委員に、岡安英子氏を選任することに同意しました。

★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	建築物の安全性の確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律（平成18年法律第92号）が公布されたことに伴い、新たに構造計算適合性判定手数料を定めるため、改正するものです。
★西尾市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	西尾市営天神住宅をはじめ6市営住宅を用途廃止するため、改正するものです。
★西尾市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定について	幼稚園保育料の減免対象を拡大するため、改正するものです。
★西尾市水防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令（平成19年政令第80号）が公布、施行されたことに伴い、配偶者以外の3人目以降の扶養親族に係る補償基礎額の加算額を改定するため、改正するものです。
★市道路線の廃止について	一般国道23号岡崎バイパスの側道を市道として認定することに伴い、関係する路線の再編成をするため、4路線を廃止するものです。
★市道路線の認定について	一般国道23号岡崎バイパスの側道29路線とその他2路線を市道として認定し、管理するためのものです。
★工事請負契約について	（仮称）西尾市中央体育館建設工事施行に伴い、工事請負契約を締結するためのものです。

陳情書

★住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情書	名古屋市熱田区 愛知県労働組合総連合 議長 羽根克明 他2人	不採択
★「六万石くるりんバス」の運行ルートの拡大を求める陳情書	西尾市米津町 杉浦律子 他1,410人	趣旨採択

西尾市議会だより編集委員会

電話 56-2111
FAX 54-0311

◎新家喜志男 ○安藤 好実
長谷川敏廣 稲垣 正明
松崎 嘉信 鈴木 規子
広中 利臣 牧野 勝子

編 集 室

▼今年の梅雨は、梅雨入り宣言後も一向に雨が降らない日が続きました。全国各地で水不足が叫ばれ、無事にこの夏が乗り切れるか大変心配です。

▼さて、西尾市議会6月定例会には10人の議員が一般質問に登壇しました。その内容は、市民病院改革に集中したと言っても過言ではありません。西尾市民病院改革は、中村市長が公約の重点施策の一つとして掲げ、着々と改革を進めていきます。

▼公立病院の経営危機は、西尾市民病院に限らず全国的な傾向で、西尾市としてもテコ入れをしないわけにはいかないということで、徹底した病院改革を行うべき体制を整えました。

▼中村市長と新病院長が手を組んで、どれだけ新しい市民病院に生まれ変わるのか注目の6月定例会でした。

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録（質問者、答弁者のすべての発言内容）が閲覧できます。